

経営比較分析表（令和2年度決算）

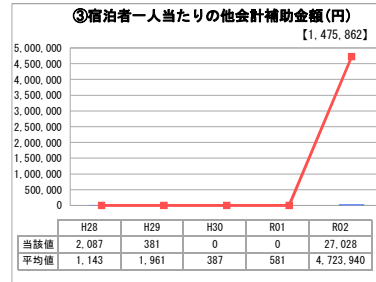
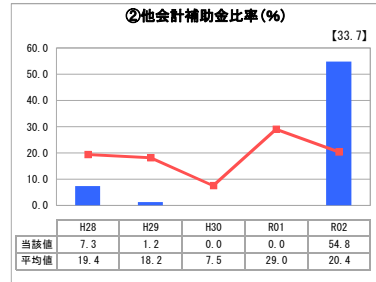
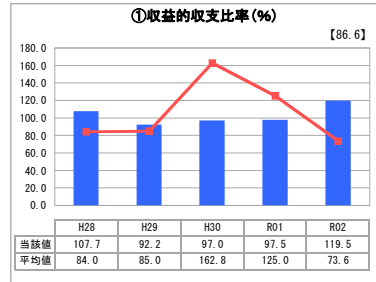
岡山県和気町 和気鶴飼谷温泉

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数 (人)	
該当数値なし	該当数値なし	6,488	115	

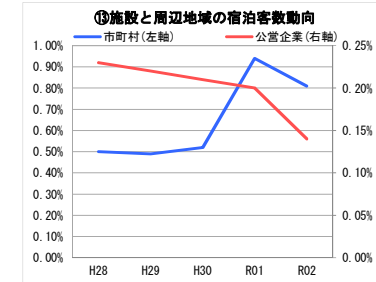
客単価 (円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合 (%)
8,716	無	58.2
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率 (%)	Wi-Fi設置
有	10.0	有

グラフ凡例	
■	当該施設値 (当該値)
—	類似施設平均値 (平均値)
【 令和2年度全国平均	

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 新型コロナウイルスの影響の長期化で、年末年始やゴールデンウィークなどの繁忙期に、緊急事態宣言やまん延防止措置となり、休館及び時短営業をしなければならなかった。また、集客を見込んでいたイベントの中止の影響もあり、非常に厳しい経営状況にある。

2. 資産等の状況について
 アフターコロナを見据え、地方創生臨時交付金を利用し、温泉入館改札機設置・カーポート修繕・客室備品整備・セルフ冷蔵庫購入を行った。本館については、築25年経過している為、急な修繕が必要になる可能性がある。

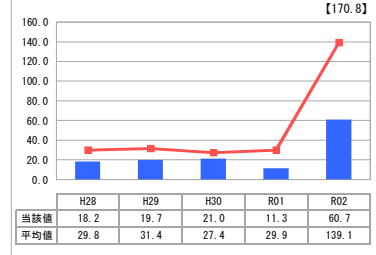
3. 利用の状況について
 不要不急の外出を控える政策により、新規予約が伸びず、予約キャンセルも多く、前年度より宿泊利用者は52%減少、温泉利用者は36%減少している。繁忙期の5月を一月営業できなかったのは痛恨である。また、宴会利用では、同窓会や忘年会・新年会もできない風潮になり、大幅に利用人数が減少している。

全体総括
 新型コロナウイルスの影響の為、前例がないほどの危機的状況である。しかし、アフターコロナを見据えて、コロナ対策を万全に備え、時代のニーズに合ったプランを企画し、健全経営に努めたい。

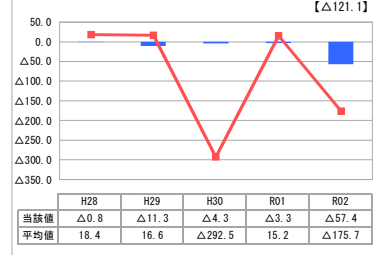
④定員稼働率 (%)



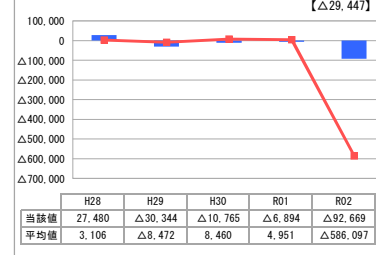
⑤売上高人件費比率 (%)



⑥売上高GOP比率 (%)

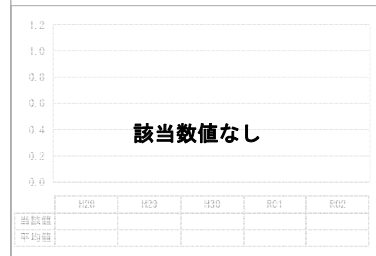


⑦EBITDA (千円)



2. 資産等の状況

⑧有形固定資産減価償却率 (%)



⑨施設の資産価値 (千円)

0

⑩設備投資見込額 (千円)

0

⑪累積欠損金比率 (%)



⑫企業債務高対料金収入比率 (%)

